

伊豆半島北東部の地殻変動*

—1999年5月～1999年10月—

Crustal deformation in the northeastern Izu peninsula
1999 May ~ 1999 October.

国土地理院
Geographical Survey Institute

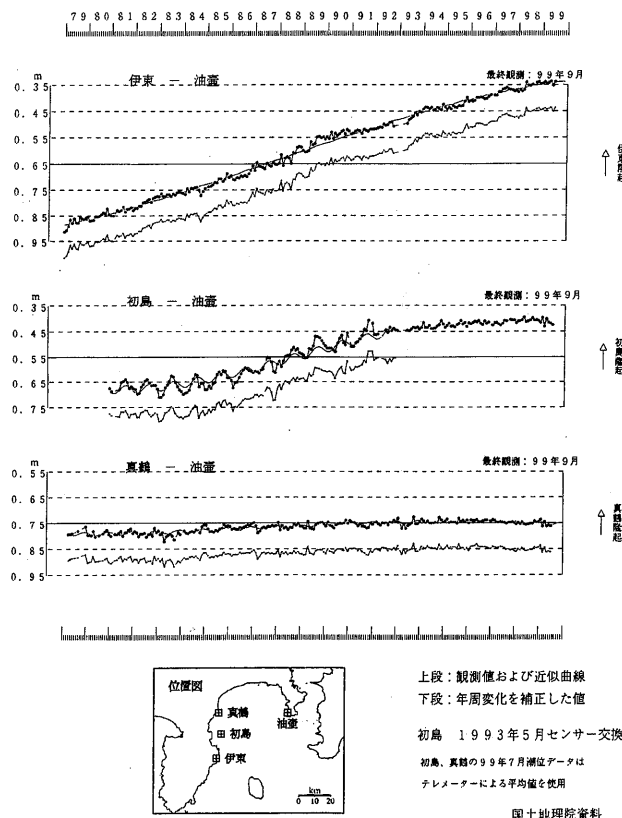
伊豆半島の地震活動はこのところ静穏である。地殻変動においても目立った変化は起きていない。

第1図は、伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の月平均潮位差である。従来と同様の傾向が継続しており、特に目立った変化は見られない。

第2図は、小室山-宇佐見間の光波測距儀による連続観測結果である。気象の影響による見かけの変動を除き、群発活動が終了した1998年5月以降、特に大きな変化は見られない。

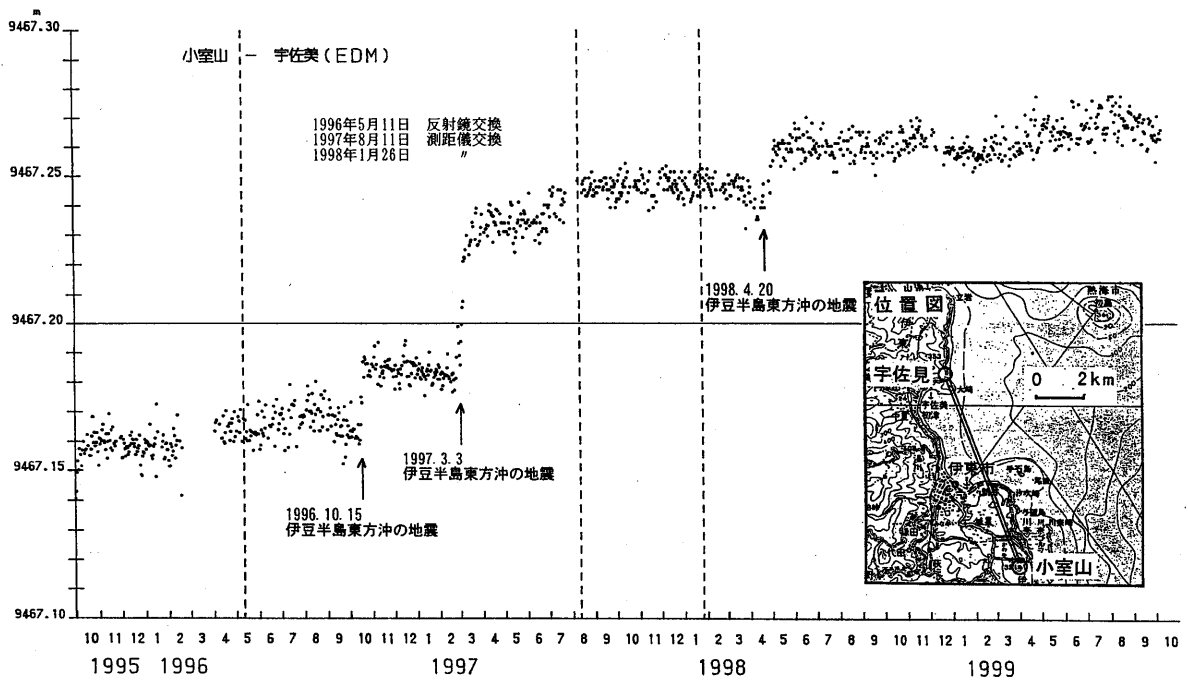
第3-1図は伊豆半島におけるGEONETの観測局配置である。第3-2図は1998年5月から1999年10月までの、伊豆半島北東部の観測点間の基線長変化の時系列である。1998年4月-5月の群発地震活動に伴う変動以外には、顕著な変動はない。なお、1998年10月頃及び1999年3月頃に、宇佐見及び伊東に関する基線において若干の値の飛びが見られるが、これは、アンテナ保護を目的とするレドーム設置に起因するもので、地殻変動を表すものではない。

第4-1図及び第4-2図は水準測量による伊豆半島の上下変動である。1998年4-5月の伊豆半島東部伊東市周辺の群発地震活動以降、最近は見だされた上下変動が発生していない。

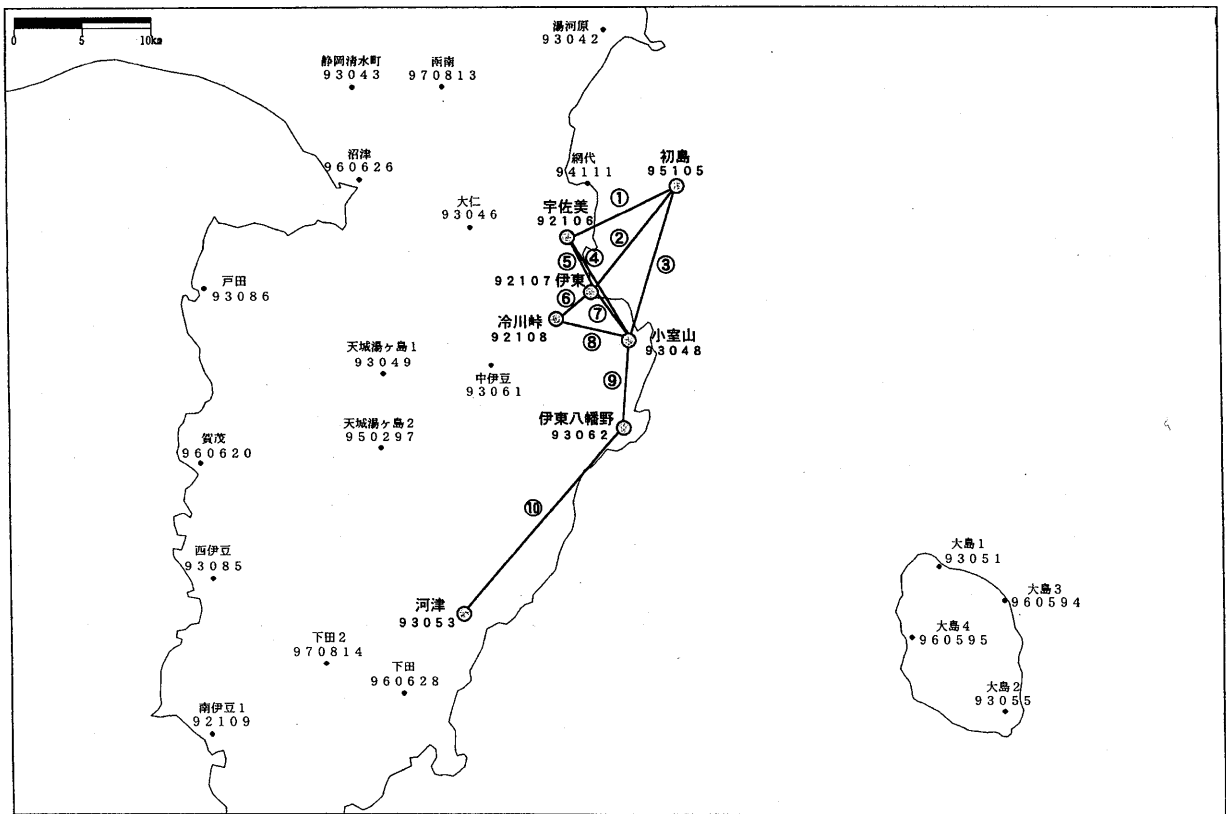


第1図 伊東・初島・真鶴・油壺験潮場間の月平均潮位差
Fig.1 Time series plots of monthly mean differences between sea levels recorded at Aburatsubo, Ito, Hatsushima and Manazuru tidal stations.

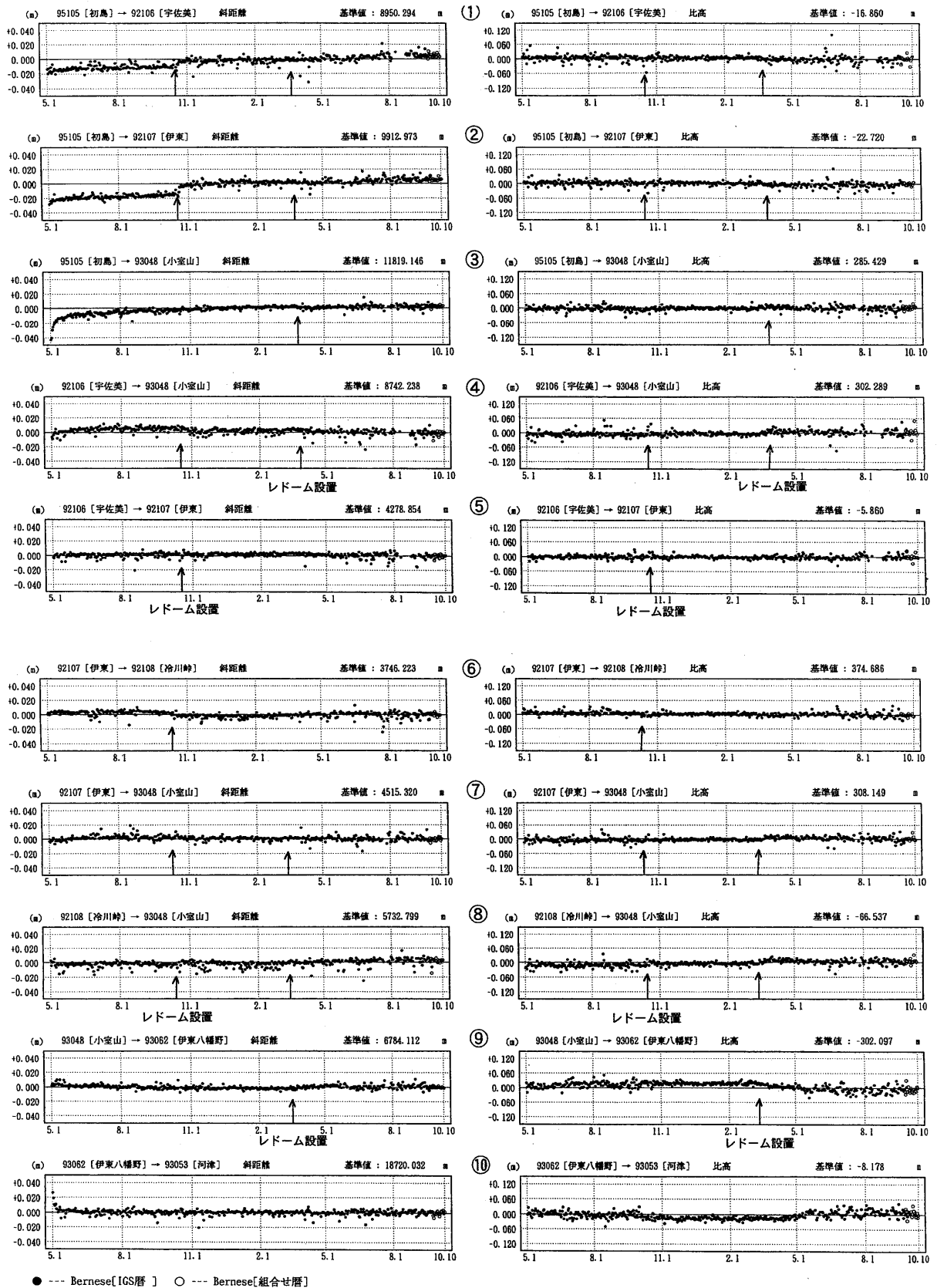
*Received 2 Feb., 2000



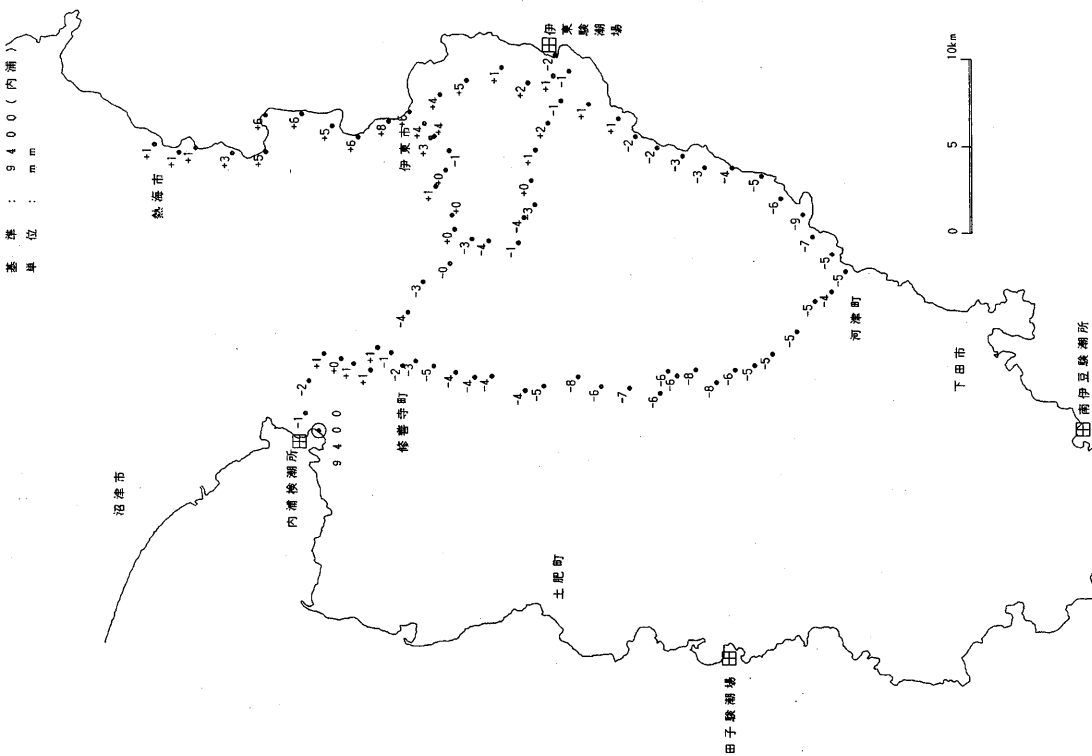
第2図 光波測距儀による宇佐美-小室山間基線長変化時系列 1995年5月~1999年10月
 Fig.2 Time Series of distance between Usami and Komuroyama during the period from May 1995 to October 1999.



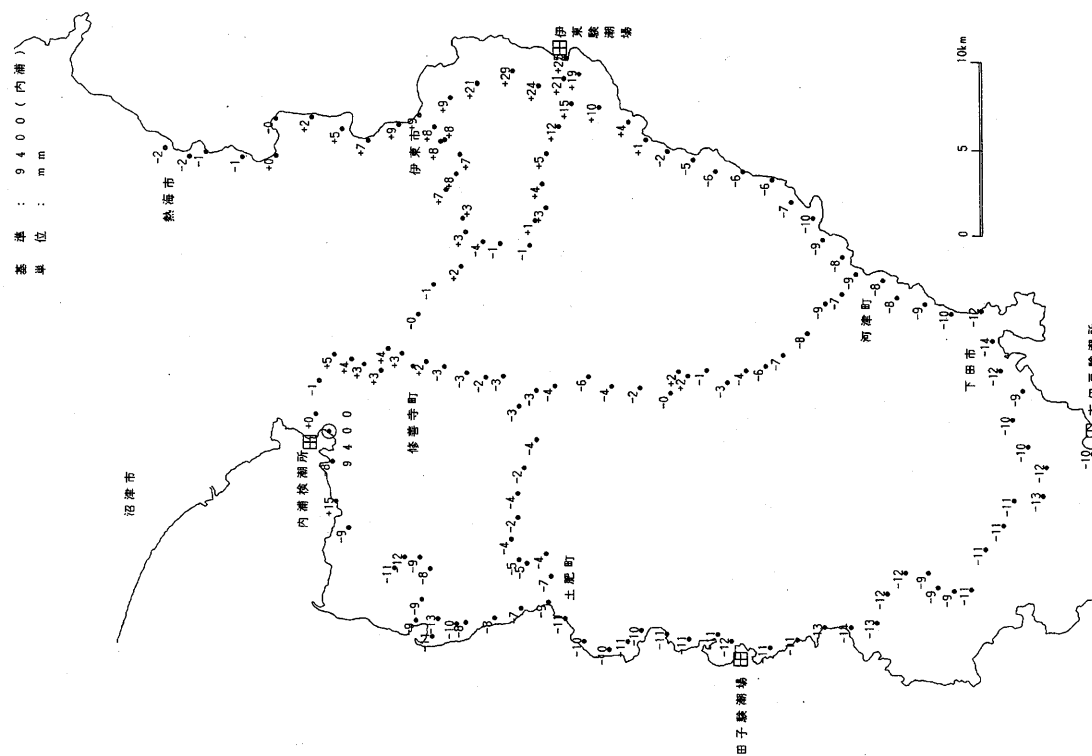
第3-1図 伊豆半島東部のGPS連続観測点配置図
 Fig.3-1 Map showing the continuous GPS observation points in the eastern part of Izu peninsula.



第3-2図 伊豆半島東部の各GPS観測点間の基線長及び変化 1998年5月—1999年10月
 Fig.3-2 GPS Time Series of distances and relative heights between sites in the eastern part of Izu peninsula. May 1998- October 1999.



第4-2図 水準測量網平均による伊豆半島東部の上下運動 (1998-1999)
 Fig.4-2 Vertical displacement derived from network adjustment of precise leveling measurements of Eastern Part of Izu peninsula(1998-1999)



第4-1図 水準測量網平均による伊豆半島の上下運動 (1997-1999)
 Fig.4-1 Vertical displacement derived from network adjustment of precise leveling measurements of Izu peninsula(1997-1999)